カトリック札幌教区報

発行所
宗教法人カトリック札幌司教区
編集責任：教区報編集委員会
〒060-0031 札幌市中央区北1条東6丁目10
TEL: 011-241-2785 http://www.csd.or.jp

主のご復活のお慶びを申し上げます

司祭叙階の約束の更新 油の祝福が行われる

札幌教区では、遠隔地の神父様方の司牧を配慮して、聖週間の聖木曜ではなく聖火曜日に、聖香油ミサが行われる。

四月七日十時三十分から、北一条教会（札幌カテドラル）で、全道から三十数名の司祭が集い、地主敏夫司教司式で、聖香油、洗礼志願者の油、病者の油の祝福と、司祭職の制定を記念して叙階の約束の更新が行われた。

地主司教は説教の中で、聖香油ミサは、三種類の油を祝福すると同時に司祭職制定を記念する日です。それは、キリスト（油を注がれた者）の司祭職の記念であり、キリストのからだ、心、思いをつかって行った神様ご自身の力を記念することです。毎年聖香油のミサで読まれる福音にも述べられているように、イザヤ書『主の霊がわたしの上におられる。貧しい人に福音を告げ知らせるために、主がわたしに油を注がれたからである。・・・』の箇所を思い起こすことを勧めています。キリストはそのような方です。キリストの務め、キリストの使命を果たそうとしています。永久に世の終わりまでそれが続くようにと司祭職を委ねられた。聖香油ミサには、司教と司祭が共に参加し、油にこめられた神様の恵みが、皆さんに行き渡るように、司祭がもう一人のキリストとなるようにとの願いがこめられている。祝福された油は、教会の大切な行事に皆さんのために使われています。司祭は自分のためにそれを使うことは出来ません。それは、司祭職は自分のためではなく、他の人のために与えられたものだからです。キリストの恵みは分配するようにするものだからです。ですから、弱い人間である司祭のためにキリストの司祭職を全うできるように祈っていただくようにお願いしますと話された。

＝油を祝福する地主司教＝

神能和巳神学生の朗読奉仕者選任式

3月20日（金・春分の日）カテドラル（北一条教会）で地主敏夫司教の司式で、司祭、修道者、信徒が集い、新司祭誕生の願いを込め共に祈った。

地主司教は、説教の中で、「聖書の言葉にある通り、聖職者は上に立つのではなく、皆さんの奉仕者であって、神のみ言葉を告げるために今日あなたは選任されました。み言葉の説教者である聖アントニオに倣い今後も精進して頂きたい。

また、召命が減少し、神能神学生の後に続く人がいない。とても残念なことです。札幌で5月に『召命のつどい』が計画されていますので、神学生になるかどうかは別として、是非参加して、お金や物が主体となっている昨今にあって、霊的なものの大切さを知ってほしいと思います。該当する年代のお子さんがいらっしゃる場合は、ご両親の方から勧めてほしいと思います。」と話された。

神能神学生は、ミサの最後に「山頂まで3分の1位かなと言うのが今の率直な感想です。神学校での生活では、自分の欠点が次々と露呈されてきて、毎回毎回それを受け止めていて、これで本当に勤まるのかなあと思うことが多々あります。しかし、同時に、自分にはこの道しかない、これが自分の生きる道と思っています。今年の4月1日から2つの神学校が合併したため福岡で勉強することになります。新しい場所での生活となります。心を新たにして頑張りたいと思います。3年間皆さんにお祈り頂いてここまでこれたと思っていますので、これからもお祈りを宜しくお願いします。」とお礼の挨拶を行った。司祭叙階に向けての神能神学生へのお祈りと、新たな召命者が出ますように、皆様のお祈りをお願いします。

＝朗読奉仕者に選任される神能和巳神学生＝

四月一日から「日本カトリック神学院」が誕生
東京・福岡両キャンパスで開校式（院長 牧山強美神父／サン・スルピス司祭会）

東京キャンパスの責任者は、松浦 信行 副院長（大阪大司教区司祭）。

東京カトリック神学院と福岡サン・スルピス大神学院が統合され、今年度から一つの神学院となりました。これからは、それぞれの神学院が、東京キャンパス／福岡キャンパスとなり、今までは教授の方々が移動していましたが、これからは神学生が、それぞれのキャンパスで三年間ずつ学ぶことになります。

東京神学院は、明治五年に東京・番町に産声を上げてから八十年。昭和五年に現在の場所に「聖フランシスコ・ザベリオ大神学校」として移設され、その後、東京カトリック神学院となりました。二月十一日に、神学院縁の司教、司祭、シスター方が集まり感謝のミサが行われ、神学院の基礎を作ったパリ外国宣教会や、戦後、運営を担ってくれたイエズス会、神学院を支えてくれた聖心の布教姉妹会などに感謝をし八十年の歴史に幕を閉じました。

神学校入学前から、卒業・司祭叙階への主な流れ

司祭になりたい希望を主任司祭などに相談。
そこから教区の召命担当司祭、司教へ。

教区での面接。司教から神学院へ推薦。

神学院で入試（今年から九月に実施）
合格後、半年間は教区内で初期養成。

神学院入学（四月）
神学校は六年課程。

最初の二年間は哲学課程（東京キャンパス）で、ラテン語、英語などの語学や哲学の諸科目を学ぶ。
次の四年間は神学課程（うち三年間は福岡キャンパス）で、組織神学や聖書、典礼、倫理、歴史などを学び、助祭叙階後の最終学年は（再び東京キャンパス）、これまでの勉学を司牧に向かってまとめあげる。

卒業、司祭叙階

2009年４月司祭異動

◇札幌地区
・江別教会主任
　森田健児師（月寒助任）
・大麻教会主任
　加藤鐵男師（江別主任、大麻主任代行）

※森田神父と加藤神父は東ブロックの協力司祭を兼務
※森田師の住居は月寒教会、
加藤師は教区事務局長兼務で
住居は札幌司教館

2008年12月司祭異動

◇地区長人事
・札幌地区長
　勝谷太治師（北広島主任）
・函館地区長
　後藤義信師（宮前町・江差主任）

2008年11月司祭異動

◇札幌地区
・手稲・花川・倶知安教会主任
　今田玄五師（宮前町・江差主任）
・手稲・花川教会協力
　久野　勉師（手稲・花川主任代行）
◇函館地区
・宮前町・江差教会主任
　後藤義信師（中央協議会事務局次長）

■来道司祭紹介■

・聖ベネディクト女子修道院付司祭
アンソニー・ゴルマン神父
（ベネディクト会／長野県富士見）

召命（しょうめい）のつどい

教会は、イエスさまの弟子たちにつづく司祭の召し出しをいつも求めています。
この混迷した時代こそ、キリストに従って歩みだす新しい人生をスタートしてみませんか！

日時：５月４日(月)・５日(火)

場所：花川マリア院
（石狩市花川南３条５丁目２５
交通：地下鉄南北線「麻生」駅下車
中央バス乗り場②で「花畔団地行き」
に乗り、「南３条５丁目」下車）

プログラム：

５月４日(月)
１５：００　花川マリア院集合
（花川セミナーハウスより奥。
テニスコートよりもさらに奥へ）
講話、分かち合いなど

５月５日(火)
朝の祈り、講話、派遣ミサなど
１１：００　解散

※参加対象：司祭の召命について考えている青年男子（18歳～40歳）。
※参 加 費：１人 ２,０００円（当日集めます。）
※申し込み方法：申し込み用紙に記入して、下記のところへ郵送またはFAXで。
※申し込み先：〒004-0004 札幌市厚別区厚別東４条４丁目５－２
カトリック小野幌教会新海雅典神父宛
TEL 011-898-2626　FAX 011-898-3190
※当日連絡： 090-4876-9117（新海神父）

主催：カトリック札幌司教区神学生養成担当司祭団

宣教師合計	35	
所属団体	邦人	外人
司教	1	0
教区司祭	24	0
パリ外国宣教会	0	4
メリノール宣教会	0	6
教区助祭	0	0
小　計	25	10
修道者合計	58	
厳律シトー会　司祭	9	0
修道士	19	0
フランシスコ会　司祭	10	13
修道士	2	0
マリア会　司祭	3	0
修道士	0	0
ラ・サール会　修道士	0	2
小　計	43	15
修道会修練・志願者・神学生	1	0
教区神学生	1	0
小　計	2	0

修道女合計	309	
修道会名	邦人	外人
厳律シトー会	55	1
イエスの小さい姉妹の友愛会	3	0
カルメル会(伊達)	16	0
カルメル会(幕別)	12	0
マリアの宣教者フランシスコ修道会	32	0
殉教者ゲオルギオのフランシスコ修道会	125	6
聖心会	7	1
シャルトル聖パウロ会	12	0
聖ベネディクト女子修道会	17	0
聖心の布教姉妹会	3	0
聖パウロ女子修道会	3	0
聖マリア在俗会(旧聖母カテキスタ会)	7	0
在俗会 聖ヴィアンネ会	9	0
小　計	301	8

施　設　名	設置数	人数
小教区教会	57	17,528
巡回教会	7	
教会学校　小学生以下	50	630
中学生	50	206
高校生以上	50	164
障害者更生施設	0	45
障害者更生通園施設	1	70
障害児通園施設	1	8,530
その他　更生施設	0	11,600
養護老人施設	1	30
特別養護老人ホーム	2	133
特別有料老人ホーム	2	19
その他高齢者福祉	2	6,119

施　設　名	設置数	人数
大学	2	3,015
高校(男子)	1	594
高校(女子)	5	1,833
高校(共学)	2	1,230
中学(男子)	1	351
中学(女子)	3	772
中学(共学)	1	263
幼稚園	57	5,228
保育園	4	83,019
乳児院	1	20
児童養護施設	1	160
研修所・黙想の家	1	400
センター・その他	3	9,964

２００８年
カトリック札幌司教区教勢報告書
2008年１月１日～12月31日

［概況］

教区総面積	78,442	(　　)内は2007年末の数字
教区総人口	5,565,889人	［2008年12月31日現在の人口］
在籍信者数	17,528人	(17,608人)
教役者合計	404人	(410人)
信者総数	17,932人	(18,018人)
求道者数	137人	(160人)
洗礼者数	199人	(198人)
初聖体	103人	(134人)
堅信	167人	(126人)
居所不明	751人	(765人)
死者	189人	(161人)
婚姻件数	67件	(82件)
信徒同士	6件	(5件)
信徒と他キリスト教	3件	(8件)
信徒と非キリスト教	43件	(47件)
他宗教同士	15件	(22件)

※教会現勢報告にご協力いただきましてありがとうございました。
※教会現勢報告の集計がまとまりましたのでご報告いたします。

教会名	信徒数			異動					
	男	女	合計	転入	転出	幼児洗礼	成人洗礼	死者	求道者
1岩見沢	118	175	293	5	7	0	4	5	3
2恵庭	62	58	120	1	0	1	0	2	0
3江別	60	63	123	3	2	0	1	0	7
4大麻	85	140	225	0	7	1	2	1	0
5北1条	279	376	655	8	7	1	14	11	4
6北11条	640	1,419	2,059	30	20	7	12	20	15
7北26条	290	466	756	9	2	1	0	5	7
8北広島	167	278	445	1	16	1	3	1	1
9倶知安	28	37	65	0	0	0	0	0	0
10小野幌	216	358	574	20	9	2	6	3	5
11新田	77	124	201	0	1	1	1	3	1
12住ノ江	50	140	190	0	0	2	3	7	1
13千歳	88	138	226	1	0	0	1	0	0
14月寒	283	486	769	16	14	3	12	13	10
15手稲	160	256	416	6	4	0	3	4	1
16富岡	72	152	224	7	0	0	0	5	1
17花川	68	111	179	3	0	0	2	0	0
18真駒内	247	369	616	18	2	0	0	15	0
19円山	341	552	893	25	4	0	10	12	6
20山鼻	299	475	774	6	4	4	16	7	2
札幌地区計	3,630	6,173	9,803	159	99	24	90	114	64
21江差	2	14	16	0	0	0	0	0	0
22当別	52	73	125	0	0	0	6	6	2
23宮前町	274	443	717	10	8	2	4	13	2
24元町	173	264	437	2	3	0	0	2	3
25八雲	32	55	87	0	0	0	0	1	0
26湯ノ川	261	460	721	5	14	0	4	5	0
函館地区計	794	1,309	2,103	17	25	2	14	27	7
27網走	28	55	83	0	0	0	0	0	0
28遠軽	14	22	36	0	0	0	0	0	0
29北見	70	151	221	2	2	0	1	4	0
30紋別	4	21	21	4	0	0	0	0	0
北見地区計	116	245	361	6	2	0	1	4	0

教会名	信徒数			異動					
	男	女	合計	転入	転出	幼児洗礼	成人洗礼	死者	求道者
31旭川五条	145	228	373	5	4	3	14	5	16
32旭川六条	157	234	391	2	1	0	0	1	1
33枝幸	10	9	19	0	0	0	0	0	0
34大町	162	239	401	1	5	2	2	3	3
35神居	64	138	202	1	3	0	4	1	0
36士別	28	32	60	0	0	0	0	3	2
37砂川	23	46	69	3	1	0	1	1	7
38滝川	46	72	118	1	0	1	1	0	0
39名寄	39	72	111	3	3	1	1	0	1
40羽幌	22	43	65	0	1	0	0	1	0
41美唄	40	73	113	2	1	2	1	1	4
42富良野	23	55	78	3	0	0	1	0	5
43留萌	68	98	166	1	3	1	0	0	0
44稚内	44	61	105	3	0	0	0	0	0
旭川地区計	871	1,400	2,271	25	22	10	25	16	39
45池田	15	33	48	0	1	1	0	0	1
46帯広	146	190	336	1	5	0	4	2	8
47釧路	217	290	507	5	11	0	8	7	6
48新川	51	95	146	12	0	0	0	1	0
49中標津	63	108	171	1	1	0	1	0	1
50根室	8	26	34	0	0	0	0	0	0
51柏林台	94	127	221	3	9	1	1	1	3
釧路地区計	594	869	1,463	22	27	2	14	11	19
52苫小牧	256	331	587	4	4	5	0	2	4
53静内	20	34	54	2	7	0	1	1	0
54伊達	75	136	211	0	1	1	1	1	2
55登別	29	47	76	1	1	0	0	0	0
56東室蘭	123	230	353	0	6	3	5	9	2
57室蘭	89	157	246	0	0	0	1	4	0
苫小牧地区計	592	935	1,527	7	19	9	8	17	8
合計	6,597	10,931	17,528	236	194	47	152	189	137

伊達教会献堂五十周年式典

二〇〇八年十月十九日、快晴に恵まれて、献堂五十周年記念式典が、地主敏夫司教様はじめ、ゆかりの神父様方をお迎えして厳かに行われました。小さな聖堂が信徒であふれました。司教様はミサの中で、この胆振で活躍された多くの宣教師、特に、メリノール宣教会の司祭方に感謝を述べられ、あわせて、信徒の皆さんの献身をたたえ、これからも、神のみ栄のために、働かれることを期待していると述べられました。ミサ後、祝賀の宴を、近くのホテルで行い、神様の計り知れない祝福を体験し、大きな喜びを頂いた一日でした。

［伊達教会の略歴］

一九八〇（明治二三）年にパリ外国宣教会のフォリー神父が一、一〇一坪の土地を現在地に購入し、教会建設に備えた。

室蘭、東室蘭教会の巡回地として教勢を伸張し、一九五八（昭和三三）年に献堂され約六〇人の信徒が移籍。二〇〇〇年十一月に現在の聖堂に改築される。

一九六一年に伊達の巡回教会として虻田教会が開設され一九七二年に閉鎖。

＝祝賀会でのみごとなフラダンス＝

伊達教会のほかに、二〇〇八年には、既にお知らせしたように、静内教会五〇周年（六月二九日）、北十一条教会一〇〇周年（十月十三日）、マリアの宣教者フランシスコ修道会札幌修道院一〇〇周年（七月十二日）を祝う記念ミサが行われた。

そして、二〇〇九年には、元町教会一五〇周年（九月二一日）、北二六条教会五〇周年（九月二七日）、旭川六条教会五〇周年（十月十七日）がお祝いされる予定。さらには、厳律シトー会の福者ラファエルが、十月十一日にローマで列聖される。

経済状況をはじめ様々な状況が取り巻く現在こそ、主の掟に従い、何が大切かを再確認して、わたしたちは主の道を共に歩み、そして日本の福者が列聖されるように祈りたい。

「えぞキリシタン殉教370周年記念行事」が開催

2008年11月24日に、ペトロ岐部と187殉教者の列福式が長崎で行われ、大きな喜びと深い感動を受けました。ペトロ岐部が江戸で殉教したのは1639年7月。同じ年の夏に、道南の松前藩で、ひっそりと信仰を守っていた信者たちが、「松前大沢で50名、上ノ国で6名、千軒金山で50名を刎首」（松前藩の古文書、福山秘府・年歴部巻の四）されました。「えぞキリシタン106名殉教」です。

残念ながら、これらの殉教者は氏名や詳細が不明であるため列福には至っていません。しかし、今年はえぞキリシタン106名殉教から370周年、千軒岳巡礼登山から50周年の節目の年にあたります。「忠実で真実な証人」（黙示録3章14）であるキリストに倣って教会と世界に血の証をした殉教者が受けた試練と栄光を讃え、私たちへの呼びかけを考えて共に祈るために今回の記念行事を行うことになりました。

正式な案内とポスターは7月1日頃を予定しております。皆さんお祈り下さい。

『記念行事内容』

◇主催　札幌司教区
◇主管　札幌地区宣教司牧評議会「えぞキリシタン殉教370周年記念行事実行委員会」（代表　新海雅典神父）
◇主会場
カトリック北11条教会
065-0011 札幌市東区北11条東2丁目2-25
TEL 011-711-2974
◇記念事業
・えぞキリシタン展
7月18日～20日
・えぞキリシタン殉教慰霊ミサ（司式　司教）
7月20日　14：00～
・講演会
7月20日　13：00～
・千軒岳巡礼登山・慰霊ミサ
7月25日　26日
◇問合せ先　小野幌教会
新海雅典神父
004-0004 札幌市厚別区厚別東4条4丁目5-2
TEL 011-898-2626
FAX 011-898-3109

2回目のフィリピンエクスポージャーに参加して

小野幌教会　益田道子

マブティンパストール教会（ケソン市）で前回出会った方達との再会やその地域の変化、そして今回宿泊したDEAFセンター（マニラ市　佐藤宝蔵神父様が主催）での経験がとても貴重なものになりました。十日という短い日数なのに、とても全てを書ききれません。

まずは、マザーテレサの家（Missionary of charity for sick children）への訪問です。小さな学校のような所に三〇人くらいの子どもがいて、病気とは言っても、私たちと一緒に遊んだりすることはできる…と思っていました。ドアを開けるとそこは私にとって想像を絶する光景でした。廊下の両脇につくられたベッドのようなものにズラーと横たわる子どもたち。建物に入って子どもと顔を合わせる時は「笑顔で！」と思っていた私でしたが、笑顔をみせられずに立ち竦む気持ちでした。

中を一回りした時、自由に元気に動き回る子の少なさに気付きました。ほとんどの子が自由に動きまわることができない。一人一人を確かめるかのように声をかけ、手を握ると、どこの誰かも分からない私に、可愛い素敵な笑顔をみせてくれる。この子は今どんなことを思って、どんな思いでこの笑顔をみせてくれているのだろうか。手を離そうとすると、細く弱々しい見た目からは想像できない力。嬉しい、けれどなにか寂しい。そんな気持ちになりました。様々な病気を持った子どもがいるけれど、どの子も神様から与えられた大切な命を精一杯生きている。同じようにこの世に命をもらった私たちとあまりにも違う世界。生まれながらの障がいと一生涯闘っていかなければならない彼らに対して、どういう感情が正しいのか。子どもと触れ合っている時は意識しなかったけれど、自分の生き方を見直し、これからどうすべきか、ということを考える機会となりました。

もうひとつ印象に残っているものをあげると、やはりマブティンパストールでの生活です。ホームステイ先で一日目にして三〇箇所近く蚊に刺されたということもあり多少苦戦しましたが、フィリピンの人達の温かい歓迎に迎えられ、ゆったりとした時間を過ごすことができました。人と人との繋がりの大切さは前

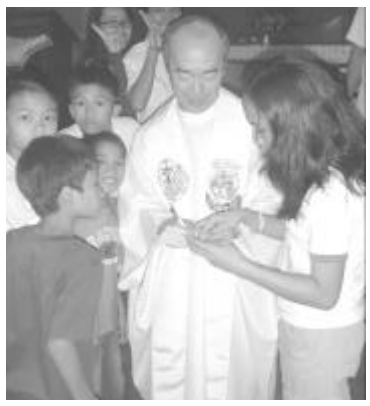
回来た時も強く感じましたが、改めて実感しました。知らない人と道端で会って笑顔を交わすなんてことは日本ではほとんど経験ありません。現地の人はとても明るく賑やかで、いつも笑っている印象が残っています。笑顔の持つ力を再認識しました。

また、未だに子どもが満足に学校に通うことができない現状を目の当たりにし、その現状を変えていかなければならないと思うのと同時に、今私たちにできることは、私たちに与えられたチャンスを生かすことだということも認識しました。

「私たちは勉強したいのです。物や財産は無くなってしまうけれど、学んだ知識や考えは盗まれることはない。そして勉強した知識を使って豊かにもなれる。稼ぐことができる。なりたい自分になるために私達には勉強が必要だし、勉強が好き」と言っていた人がいました。

こうはっきり言えることは素晴らしいと思うと同時に自分が情けなくもなりました。海外や自分と違う状況に目を向けることで学ぶことは大きいですが、自分を振り返ることができるということも重要な要素であると感じ、今ある状況をどう生かして生活するかが大事であるということを考えさせられました。

今回の訪問では、すべてが初めてで、あるがままの状況を受け止めることでいっぱいになっていた前回から一歩進み、色んなことに興味をもって積極的に活動でき、感じることや考えることも多く充実した日々を過ごせました。今の気持ちを忘れずに今後の生活を送り、どこかで生かしていけたらと思います。このような経験をさせていただき、感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。



青年エクスポージャー

＝五月一日から六日間＝

最初の三日間は下関からフェリーに乗り、韓国釜山を訪れて韓国の青年たちと交流し、殉教者墓地や民主公園、幼きイエズス修道女会などを訪れる。

再度フェリーに乗船して下関に戻り、韓国との関わり「過去と現在」と題した講話を聞く。翌日は岩国を訪れ、米軍基地や愛宕山跡などを見学する。短い期間でハードなスケジュールだが、「戦争と平和」「隣国の韓国」について多くのことを体感してくれることを願っている。

↓自分は今平和なのか？↓世界全体だと平和？↓自分は今恵まれているのか？↓フィリピンに実際に行った人たちの話を聞いてみて、自分たちって本当に平和？↓「平和」ってどういうことなんだろう？

という流れで進んでいきました。

セッションを通して、お互いの考えや平和に対する思いを分かち合っていったのですが、やはり「平和」というテーマは少し大きすぎたのか、始めはみんな漠然とした考えや思いしか浮かばなかったようですが、時間（日）がたつにつれ、自分たちの現状や世界の現状（とくにフィリピン）を学んで行くと、自分たちの中で「平和」というものがどういうものなのか、自分自身の中で確立した考えや思いを持ち始め、お互いの考えを、投げ掛けあい・受け入れあい、活発な分かち合いをするようになっていきました。練成会が終わり、解散する際には参加者達は心なしか満足そうな顔をしていたように感じました。

カト高練成会

三月二五日～二八日の四日間、月寒教会で開催

参加者は、高校生十七人、リーダー（青年）七人、神父二人、神学生一人の計二七人。

今回のテーマは「平和」

どういう状況だと平和なのか？

旭川中高生会

四月四日旭川五条教会で、二〇人（神父・リーダー含む）が参加して、「卒業・進学おめでとうの会」ということで、進学した人たちはもちろんのこと、特に中学と高校に入学、高校を卒業した参加者をお祝いする事と、中高生と青年（リーダー）との交流を図ることを目的に開催。

始めは、自己紹介から始まり、復活祭が近かったということもあり、「ご復活」にちなんだクイズ形式での勉強を、間野正孝神父に指導していただき、その後、リーダーによるレクレーション（ゲーム）を行いました。

そのあとは夕食を食べ、閉会の際には高校卒業する参加者にみんなからの寄せ書きを書いた色紙をプレゼントして、中高生会は無事に終了しました。

教会学校で

北1条教会　大関裕美子

隣人とはどのような人か？をテーマに、人形アニメ『おこんじょうるり』（岡本忠成作・声／長岡輝子・25分）の上映をしました。

ちえりあ　から『おこんじょうるり』の16mmフイルム・映写機を無料で借りることができました。折角だからとカテドラルホールの窓に黒い紙を張り、敷居を作り、司教館から大型スクリーンをお借りして小さな映画館を作りました。上映はミサ後、参加者は子ども2人、大人の参加者も含めると総数35名になりました。教会学校としての上映会なので、「隣人とはどのような人か？」というテーマで映画の上映をしますと説明、映写機が回るジージーという音を聞きながら始まりました。

物語は…占いが外れてばかり、落ち込んで寝ていたイタコの婆さまのところに、お腹を空かした狐がやってきます。狐が食べさせてもらったお礼に唸った…浄瑠璃…は、人を元気にさせる神通力を持っていました。そこで婆さまは一緒に暮らそうと相談、狐は婆さまの背中に隠れて病気の人を治しに行くことになり…一人と一匹はお互いに助けられる関係となりました。ところが、ある日、お礼に貰ったお金を取られそうになり、狐は婆さまを助けようとして瀕死の重傷を負います。

婆さまは、身代わりになった狐を助けようと必死に　浄瑠璃　を唸るのですが、その腕の中で狐は涙を流します。婆さまが何故泣いているかと尋ねると、狐は「今まで人の為に唄ってきたのに、自分の為に唄ってくれたのが嬉しくて泣いてる。」と答えて亡くなります。婆さまは、狐が亡くなったことをひどく悲しんだけれど、自分が亡くなる時は豊かな気持ちで人生を終えたという内容です。

映画を観た後は、子どもと共に感想を語り合い、その後、聖書の　善きサマリア人　（ルカ伝・10章25～37）を読んで、婆さまと狐はどのように出会い、仲良くなり、お互いが大切な存在と変わっていったか？思いやることで心がどんなに豊かになったかを話しました。

最後に、飢えた人、裸の人、家の無い人、体の不自由な人、病気の無い人、必要とされることのない人、愛されていない人、誰からも世話をされない人に為に働き、「親のない子ども」「病気の人」「死にゆく人」の隣人として人生を終え、すべての人に愛を伝えた　マザーテレサ　の紹介をしました。

素晴らしい映画と出会いました。上映中は笑いもあって、最後には拍手も起こりました。『おこんじょうるり』は　ちえりあ　に登録すると、どなたでも無料で借りることができます。

教区内の諸活動Q&A

Q1

カリタスと名がついている団体がいくつかありますが、どのように違うのでしょうか？

A　カリタスジャパン

国際カリタスの日本組織。そして、日本カトリック司教協議会の社会司教委員会を構成する委員会の一つです。

東京の日本カトリック会館に事務所をおき、社会福祉活動の推進と国内外の災害援助、開発援助を行っています。日本のカトリック教会における広義の社会福祉に関わる部門として、また国際カリタスの一員として、その他の国際機関とも密接な連絡を保ちながら、国内外への援助活動、四旬節「愛の献金」その他の募金活動、また社会福祉活動の促進のための啓発活動や協力のための連絡・調整・助成、HIV／AIDS問題に関する啓発運動などの活動を行っています。

国際カリタスは１９５１年教皇ピオ十二世に認可された社会活動、救援活動団体で、国連経済社会理事会第１級認定の国際赤十字に次ぐ国際的なＮＧＯ組織。加盟国１６２カ国。本部はバチカンです。

A　札幌カリタス

カトリック札幌司教区の社会福祉委員会の組織で、札幌教区内の活動を支援しています。札幌司教館に事務所をおき、社会福祉活動の推進を図るための研究会やシンポジュームの開催、札幌カリタスの日の募金等の活動を行い、社会福祉活動団体ならびに福音の芽生えとなる社会福祉活動に対しての資金的援助活動を行っています。

A　カリタス家庭支援センター

カリタス家庭支援センターは、ベネディクトハウスに事務所をおく、札幌司教に許可された団体でカリタス家庭支援センター運営委員会によって運営されています。札幌教区から派遣されている専門資格を有する相談員と、ボランティアの人々で活動しています。家庭生活に係わること、社会との関係から生まれる問題、保健・医療・福祉の問題、いのちを大切にする問題などに総合的に相談のり支援を行っています。

連絡先

○一一―二五二―五七六六

Q2

キリスト教の考えに基づき、社会福祉的立場から活動している団体は教区内にその他にあるのでしょうか？

A　有ります

①みなずき会

ホームレスの人々への支援を行っているボランティア団体です。事務所はうぇるかむはうす。皆さんからの募金をもとに、札幌市内の小教区が主体で何チームかにわかれて、毎週一回水曜日に炊き出しの活動を続けています。

②虹の会

「視覚障がい者と共に歩む会」を虹の会といいます。聖書と典礼を始めとして、教区報や委員会報、小教区便りなどが、ボランティアによって年間一一、○○○枚以上が点訳されています。また、同時に音訳も行われて障がい者の方々に送られ利用されています。また、点字プリンターの買い替え時期にきております。一○○万円を越す高額な機器のため皆様からのご寄付を募っております。ご協力お願いします。

③共働学舎

北海道には、留萌郡小平町寧楽と、上川郡新得町新得の２箇所にあるＮＰＯ法人の団体です。心身に様々な問題を抱える人たちと、それを支える人たちが、共に働き、共に生活して、自労自活を目指して日々努力しています。牛や豚、鶏を飼うことから一貫して作り上げたチーズやソーセージなどの農産加工品でも有名です。

④ニムビン

旭川市で活動しているＮＰＯ法人です。知的障がい者のための地域活動支援センターを運営しています。旭川六条教会の信徒や有志の方々が障がい者の自立支援のために地域共同作業所としてスタートしたのが始まりです。

⑤ぶどうの木

北区あいの里で活動しているＮＰＯ法人の団体です。発達障がいを持つ人々とその家族を支援する組織と施設を運営しています。札幌市近郊に在住する発達障がいを持つ未就園児、通園児、小学低学年児を対象にして、小集団指導、個別指導、行事などを行っています。

その他にも、皆さんご存知の札幌マックや北海道ダルク、自助グループなどがあり、アルコール依存症や薬物依存症からの更生を図っています。

北力幼新任研修会開催

北海道カトリック幼稚園協議会の発足と同時に始まった「カトリック幼稚園新任教職員研修会」は今回で41回を数え、平成21年３月25日　から27日　、花川の藤学園セミナーハウスで開催された。参加者は例年より多目の47人、平成12年からお誘いしている社会福祉法人の園も毎年必ずどこかが参加者を送ってくださっている。今年は羊丘藤保育園のお二人と三日間を共にした。

朝６時30分の起床から夜22時30分の就寝まで、「カトリック幼稚園とは？宗教教育の実践、聖書とカトリックの教え、朝夕の祈り、ミサ」という、カトリック幼稚園ならではのカリキュラム、「勤務規程、実習制作、教職員の心得、保護者との接し方」という教育に係るものの基本カリキュラムが組まれている。そしてその間に二つのリラックスタイムがある。レクリェーションのミニバレーボールには２～３倍の年齢差を押して、研修委員がチームを作る。連戦連勝の輝かしい過去を持ちながら３年ほど前から優勝から遠ざかっていたが（相手の年齢は変わらず、こちらだけが年をとっていくのだから仕方がない）今年は一人の委員の貴重な犠牲の上に久々に勝利を勝ち取った。

この表彰式と併せてゲーム等で楽しむのが二日目の懇親会で、期間中最も盛り上がる時である。12年前、札幌でカトリック幼稚園の全国研修大会が開かれた際にアトラクションのために結成されたバンド、通称「即日解散同業者バンド」のメンバーが中心になって歌やゲームをリードするが、男性の参加者のひとりはその姿を見て「自分もああいう先生になりたい」と…。そしてバンドの面々は「俺たちもう12年もこんなことしてるんだ…」。

初めて十字を切ったという参加者もいる。子どもたちに伝える前の、伝える側の学びがますます必要になっている。

この研修会ですべてを理解することは不可能だが、協議会としては、これが園に入ってからの道付けになればよいと考えている。「即日解散同業者バンド」のメンバーもまた来年もがんばることであろう。

■訃報■

神様のみもとでの安息をお祈り下さい。

◇マリアの宣教者フランシスコ修道会

Sr.マリア伊藤かをる

二○○九年一月四日にすい臓癌のため帰天。享年九二歳

［略歴］

一九一六年一一月九日小樽に生まれる

一九四五年九月一七日修道会入会

一九五○年九月一七日終生誓願

修道生活六三年四ヶ月

◇殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会

Sr.マリア・レギナ田村澄

二○○九年一月三○日に病気療養中の病院にて帰天。享年九○歳

［略歴］

一九一八年三月三○日生まれ

一九三八年八月二八日入会

一九四一年八月一二日初誓願

一九四七年八月一二日終生誓願

一九九○年一○月一三日修道金祝

二○○○年一一月一一日修道ダイヤモンド祝

◇十勝カルメル修道会

Sr.イエズスのフィデリス・テレジア松岡一恵

二○○九年二月十四日に腎臓、肝臓の機能低下に加え、腹膜炎を併発し帰天。享年七二歳

［略歴］

一九三六年九月三日愛知県に生まれる

一九六八年四月二一日月形イエズスの聖テレジア修道院入会

一九七○年五月一○日初誓願

一九七四年五月一○日荘厳誓願

一九九○年一一月一四日十勝カルメル会修道院創立に参加

修道生活四一年

■編集後記■

ご復活を迎えて復活節に入ると北海道も春めいてきます。そして、心も身体も活動的になってきます。キリスト者として主の道を、弱い立場の人々と共に歩んでいけますようお祈り致します。（編集子）